

## (4) 平取ダム（北海道平取町）

### ◆実施主体

平取ダム水源地域振興協議会

### ◆水源地域活性化調査時の活動内容

#### ①廃校利用を柱とした水源地域活性化

- ・廃校となった旧豊中小中学校の利用を検討するため、平取ダム水源地域振興協議会を立ち上げ、利用方法の検討、先進事例の視察を実施。
- ・教職員住宅を利用した、「住宅つき滞在型農園とよぬかの里」の拡充・販売促進。

#### ②豊糠地区の特産品開発、地域イメージキャラクターの検討、ホームページの開設と活用

- ・とよぬかブランドの発掘・販売。
- ・とよぬかブランドのキャラクターを一般公募し、キャラクター化を展開（ほろりん）。
- ・平取ダム水源地域振興協議会の情報発信手段として、ホームページを開設。

### ◆地域の関わり

平取ダム水源地域において実施された水源地域活性化調査は、「協議会」が中心となり、「アドバイザー」、「学生」、「地域住民」、「自治会」、「行政」、「都市住民」、「関連団体」の8主体が連携して実施しました。

各主体の役割分担

	指揮者・ リーダー	起案者・ 発案者	専門家・ 助言者	宣伝者	事務者	支援者・ 後援者	同好の士・ 同調者
協議会	●	●		●	●		
アドバイザー			△				
学生		△					△
地域住民						●	
自治会		●				●	
行政					●		
都市住民							●
関連団体							●

●水源地域活性化調査以降も継続  
△水源地域活性化調査以降は撤退  
○水源地域活性化調査以降に参画

### ◆水源地域活性化調査以降の展開

水源地域活性化調査で実施してきた活動（とよぬかの里の拡充、ブランドキャラクターのグッズ販売）を継続して実施するとともに、水源地域活性化調査での検討結果を踏まえ、とよぬか山荘を開設し、運営・管理を行っています。また、とよぬか山荘の運営では、近隣の山小屋と協力して、山荘の予約や情報窓口の一体化などに取り組むことで、利用客の増加につながっています。

さらに、「地域おこし協力隊事業」を活用し、人材育成や活動内容の充実を図っています。

#### ◆課題

とよぬかの里の利用者が増加しており、宿泊の需要に対しての供給量が不足しています。

現在の主な資金源は、幌尻岳の登山シーズンでの山荘利用料となっており、シーズン外や登山時の情報提供などでも資金を獲得できる仕組みを構築する必要があります。

水源地域活性化調査で鹿肉等を活用した特産品開発を実施しましたが、豊糠地区のオリジナルブランドの確立が困難な状況であるとともに、保健所等への許可申請が必要であるため、商品化に結びついていません。

#### ◆まとめ

平取ダム水源地域では、地域との関わりが強い「廃校の有効活用」に向け、町内会長を中心とした地域住民が主体となった協議会を立ち上げたことで、活動が実施しやすくなりました。




学生やアドバイザーなどの「外部の視点」を取り入れた「現地調査」を実施したことで、地元住民だけでは気がつかなかった地域の魅力を再発見することができ、イベントやワークショップなどの開催につながっていきました。

さらに、都市部での登山ブームに乗って、運営している宿泊施設の価値を向上させるとともに、他の施設との連携や窓口の一体化などを実施し、利便性の向上を目指しています。



とよぬか山荘

活動の流れ (平取ダム)

内容/西暦		1947 (昭和22)年	1977 (昭和52)年	1985 (昭和59)年	2008 (平成20)年	2009 (平成21)年	2010 (平成22)年	今後	
ダム建設	経緯		平取ダム事業着手 (1977)				平取ダム竣工予定 (2016)		
	水特法関係		水特法指定 (1985)	水源地域整備計画策定 (1986)	野菜生産共同栽培施設整備				
社会環境	小中学校の開校・閉校	豊糠小学校開校 (1947)	ダム建設のため学校移転 (1985)	豊糠(小)中学校閉校 (2008)	とよぬかの里の開業 (旧教職員住宅を利用した住宅つき滞在型農園 2009)	とよぬか山荘開業 (2010.7)			
	組織設立			水源地域対策検討プロジェクト設立※1 (2008.6)	平取ダム水源地域振興協議会設立会議※2 (2008.10)	平取ダム水源地域振興協議会 (2009)	平取ダム水源地域振興協議会 継続 (設立時: 28人、2012年: 35人)	継続	
活動内容	取組内容						<ul style="list-style-type: none"> <li>旧教職員住宅を利用した住宅つき滞在型農園 (とよぬかの里) の実施・拡充</li> <li>廃校利用を柱とした水源地域活性化</li> <li>豊糠地区の特産品開発と地域のイメージキャラクターの検討</li> <li>ホームページの開設と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とよぬかの里の実施 4戸/1年 1戸25万円</li> <li>とよぬか山荘の開設 (2010.7) 2012年: 1,200人利用</li> <li>特産品開発: 中止</li> <li>イメージキャラクター: 販売物等を利用</li> <li>協議会HP: 作成後未更新 上記の活動は観光協会等のHPでPR</li> </ul>	継続
	関連団体		とよぬかの里	とよぬか山荘				継続	
			イメージキャラクターを活用した販売物	幌尻岳登山の情報発信 (とよぬか山荘ない)				継続	
国土交通省 支援事業								<ul style="list-style-type: none"> <li>水源地域活性化調査 (2009)</li> <li>水源地域アドバイザー派遣制度 (2008)</li> <li>水源地域活性化調査での活動内容</li> </ul>	

※1: 平取町役場のメンバーで構成、※2: 豊糠地区周辺周辺の市民により構成